



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月30日

上場会社名 株式会社メイテックグループホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9744 URL <https://www.meitecgroup-holdings.com>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）上村 正人
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員 グループ経理財務担当 （氏名）山下 徹 TEL 050-3033-0945
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	34,600	1.5	5,322	9.1	5,340	8.7	3,574	7.3
2026年3月期第1四半期	34,084	3.6	4,879	2.3	4,911	2.7	3,332	3.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,540百万円（7.0％） 2026年3月期第1四半期 3,309百万円（2.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	46.30	—
2026年3月期第1四半期	43.16	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	81,292	44,121	54.3
2026年3月期	89,814	48,764	54.3

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 44,121百万円 2026年3月期 48,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	90.00	—	106.00	196.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		85.00	—	96.00	181.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	69,500	1.7	9,500	△5.6	9,600	△5.6	6,500	△6.3	84.19
通期	140,800	2.3	20,500	3.0	20,700	3.0	13,900	△7.7	180.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規一社（社名） 除外一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	78,000,000株	2026年3月期	78,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	793,291株	2026年3月期	793,291株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	77,206,709株	2026年3月期1Q	77,207,002株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(3ヶ月間:2026年4月1日~2026年6月30日)は、緩やかな景気回復が見られたものの、海外情勢の影響を注視する動きを背景に、先行きは不透明な状況が続きました。

当社グループの連結売上高9割超を占めるエンジニアリングソリューション事業を担うメイテック(MT)、メイテックフィルダーズ(MF)では、主要顧客である大手製造業各社が、次代を見据えた技術開発投資を進められたことから、受注は堅調に推移しました。

中長期の成長を見据え、厳しい採用環境の中、品質を堅持した積極採用を継続した結果、2026年4月は502名(MT:225名、MF:277名)の新入社員が入社しました。2026年6月末のエンジニア社員数(MT・MFの合計)は12,399名(前年6月末比▲189名、▲1.5%)と、前年同期比で若干減少しました。稼働率は受注に応じて、新入社員の早期配属および既存社員の配属を促進したこと等により、前年同期並みとなりました。なお、稼働時間は時間外労働の減少等により、前年同期比で若干減少しました。

その結果、連結売上高は、前年同期比5億16百万円(1.5%)増収の346億円となりました。連結売上原価は、労務費等の減少により、前年同期比44百万円(0.2%)減少の248億86百万円、連結販売費及び一般管理費は前年同期比1億17百万円(2.7%)増加の43億90百万円となり、その結果、連結営業利益は、前年同期比4億43百万円(9.1%)増益の53億22百万円となりました。連結経常利益は、前年同期比4億28百万円(8.7%)増益の53億40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2億41百万円(7.3%)増益の35億74百万円となりました。

詳細につきましては、TDnetおよび弊社ウェブサイトで本日公表している「2027年3月期第1四半期決算説明資料」を参照下さい。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業においては、稼働率等が堅調に推移したことを背景に、売上高は、前年同期比6億30百万円(1.9%)増収の343億59百万円となりました。営業利益は、前年同期比5億30百万円(10.9%)増益の53億94百万円となりました。

稼働率(全体)については、MTは96.3%(前年同期96.4%)、MFは94.1%(前年同期93.3%)と前年同期並みとなりました。稼働時間については、MTは8.22h/day(前年同期8.26h/day)、MFは8.08h/day(前年同期8.13h/day)と前年同期比で若干減少しました。

② エンジニア紹介事業

エンジニアに特化した職業紹介事業を行っているメイテックネクストにおいては、紹介決定者数の減少などにより、売上高は、前年同期比1億13百万円(32.1%)減収の2億40百万円、営業利益は前年同期比78百万円(59.7%)減益の53百万円となりました。

③ その他

当社メイテックグループホールディングスのグループ運営に関する事業においては、子会社からの受取配当金の増加により、営業収益は前年同期比11億68百万円(8.7%)増収の145億55百万円、営業利益は前年同期比11億60百万円(8.8%)増益の143億24百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末(2026年6月30日)の資産合計は、前連結会計年度末(2026年3月31日)比で85億22百万円減少し、812億92百万円となりました。これは、現金及び預金の減少に伴い流動資産が前連結会計年度末比で84億32百万円減少した事が要因です。なお、現金及び預金の減少は、賞与支給や未払法人税等の納付、前連結会計年度の期末配当支払などが主因です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比で38億78百万円減少し、371億70百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で38億72百万円減少した事が要因です。なお、流動負債の減少は、賞与支給に伴う賞与引当金の減少などが主因です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比で46億43百万円減少し、441億21百万円となりました。これは、配当金の支払が主因です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,839	43,753
受取手形及び売掛金	18,501	19,168
仕掛品	62	131
その他	1,445	1,361
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	72,840	64,408
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,610	2,579
その他（純額）	1,085	1,083
有形固定資産合計	3,695	3,662
無形固定資産		
その他	145	134
無形固定資産合計	145	134
投資その他の資産		
繰延税金資産	10,151	10,167
その他	2,996	2,930
貸倒引当金	△15	△10
投資その他の資産合計	13,132	13,086
固定資産合計	16,973	16,884
資産合計	89,814	81,292
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	3,448	1,901
役員賞与引当金	70	70
賞与引当金	12,752	5,658
その他	8,273	13,043
流動負債合計	24,544	20,672
固定負債		
退職給付に係る負債	16,504	16,498
固定負債合計	16,504	16,498
負債合計	41,049	37,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	1,259	1,259
利益剰余金	43,552	38,943
自己株式	△1,694	△1,694
株主資本合計	48,118	43,508
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△508	△508
退職給付に係る調整累計額	1,155	1,121
その他の包括利益累計額合計	646	612
純資産合計	48,764	44,121
負債純資産合計	89,814	81,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	34,084	34,600
売上原価	24,931	24,886
売上総利益	9,152	9,713
販売費及び一般管理費	4,273	4,390
営業利益	4,879	5,322
営業外収益		
受取利息	5	9
助成金収入	9	6
還付加算金	16	—
その他	1	2
営業外収益合計	34	18
営業外費用		
賃貸借契約解約損	1	—
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	4,911	5,340
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	10	1
特別損失合計	11	1
税金等調整前四半期純利益	4,900	5,338
法人税等	1,567	1,764
四半期純利益	3,332	3,574
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,332	3,574

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	3,332	3,574
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△23	△34
その他の包括利益合計	△23	△34
四半期包括利益	3,309	3,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,309	3,540

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	72百万円	161百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアリング ソリューション事業	エンジニア 紹介事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	33,729	354	—	34,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	13,386	13,387
計	33,729	354	13,386	47,471
セグメント利益	4,863	131	13,163	18,159

(注) 「その他」の区分は持株会社である当社であり、主にグループ会社の経営管理及び不動産管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,159
セグメント間取引消去	△13,280
四半期連結損益計算書の営業利益	4,879

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアリング ソリューション事業	エンジニア 紹介事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	34,359	240	—	34,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	14,555	14,555
計	34,359	240	14,555	49,156
セグメント利益	5,394	53	14,324	19,772

(注)「その他」の区分は持株会社である当社であり、主にグループ会社の経営管理及び不動産管理事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,772
セグメント間取引消去	△14,449
四半期連結損益計算書の営業利益	5,322

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。